

～富士見生の今を伝える～

コミュニティ通信 Neo



静岡県富士見高等学校
コミュニティ研究会



左上から時計回りに音楽、美術、バトントワリング、演劇、箏曲、書道、生物の発表

富士見祭文化の部



岩田千鶴会長

「虹」のよつに「耀」く

令和8年度の富士見祭文化の部が6月5日のオープニング、6日の一般公開として開催されました。昨年度から体育の部は、前もって5月に実施されています。「虹耀(こうよう)」のテーマのように、生徒一人一人の個性が光り輝く文化祭となりました。

今年の富士見祭テーマは「虹耀(こうよう)」。オープニングの中で生徒会長の岩田千鶴さん(3年)は「この言葉は『にじ』と『耀』(かがやく)を組み合わせた言葉で、『虹のよ

うに彩り鮮やかで、光り輝いている」という意味を込めました。一人一人が彩り豊かな個性できらびやかに輝き、明るく、夢や希望にあふれるような富士見祭を創りたいと思います」と語りました。

5日のオープニングでは生徒会本部が制作したオープニングムービーを上映した後、音楽部、箏曲部、演劇部、バトントワリング部、吹奏楽部の発表がありました。

7日の一般公開では3年生各クラスの趣向を凝らした模擬店に加え、保護者会のおこたま」販売

今回の模擬店では、日頃から富士駅北口周辺のまちづくり「エキキタテラス」にチャレンジショップを出店して地域の方々にご喜ばれてきたコミュニティ研究会の「だかしやさん」が、富士見祭に初登場しました。いちご大福やドーナツなど、昔ながらの懐かしさを感じてもらって良かった」と語りました。

「だかしやさん」は、駄菓子を食べたり縁日の遊びをするなどで、童心に帰って

だかしやさん



販売員の松岡菜月さん



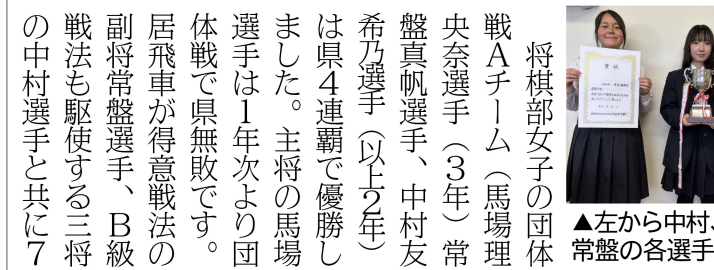
県8連覇の女子バレーボール部

夏の高岡高等学校総合体育大会と全国高等学校総体文化祭に本校から出場する5つの部活動(6月11日までに決定分)の女子バレーボール部、将棋部、書道部、カルタ部、コミュニティ(研究会新聞班)を紹介します。

女子バレーボール部は県予選で全勝し、県8連覇の15回目優勝を達成して、8月3日から滋賀県で開催される全国高等学校総合体育大会出場に今年も名乗りを上げました。

県予選の初戦は静岡西を、2回戦は掛川東を、決勝リーグ進出決定戦は小笠原を危なげなく退け、決勝リーグでは沼津商業、袋井商業にストリート勝ちしましたが、最終戦の静岡サレジオ戦ではフルセットまでもつれる接戦を制しました。

主将の中田萌花選手(3年)は「新1年生が多く試合に出ていたので、まとまりやチーム作りが大変でした。ギリギリでも県で8連覇できた安心と嬉しさがあります。全国での目標はまだ決まっていますが、自分たちができることを最大限にします」



▲左から中村、馬場、常盤の各選手

将棋部女子の団体戦Aチーム(馬場理央奈選手(3年)常盤真帆選手、中村友希乃選手(以上2年)は県4連覇で優勝しました。主将の馬場選手は1年次より団体戦で県無敗です。居飛車が得意戦法の副将常盤選手、B級戦法も駆使する三将の中村選手と共に7

富士見生 輝きの夏

全国総体出場 全国総文祭出場



左が仲澤さん、右が石井さん

「今号の担当者」秋山優斗、石井真瑛、仲澤寿々乃(以上3年)、高野真由美、松岡菜月(以上2年)

今年も全国上位へ

将棋部女子の団体戦Aチーム(馬場理央奈選手(3年)常盤真帆選手、中村友希乃選手(以上2年)は県4連覇で優勝しました。主将の馬場選手は1年次より団体戦で県無敗です。居飛車が得意戦法の副将常盤選手、B級戦法も駆使する三将の中村選手と共に7

月30日から秋田県由利本荘市で開催実施される全国総文祭高文祭に出場です。全国では3年連続上位入賞(3位、5位、5位)なので期待大。

主将の馬場さんは「最後なので悔いが残らないように頑張ります。後輩の経験のためにも予選は勝ち抜きたいです」と語りました。



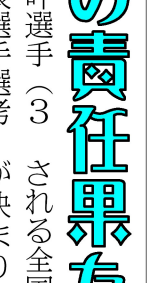
伊藤匠叶選手

カルタ部の伊藤匠叶選手(3年・三段)は県の代表選手選考会でベスト4に入り、静岡県選抜代表チームの副将として、7月28日から秋田県大館市で開催

「試合前日は夜8時には寝て体調を整え、副将としての責任を果たしたいです」と語りました。

副将の責任果たしたい

「さらなる高みへ」中澤花瑛さん(3年)の作品が県高文化連書道専門部会長



中澤さんの作品

中澤花瑛さん(3年)の作品が県高文化連書道専門部会長

賞を受賞し、7月28日から秋田市で開催の全国総文祭へ出場が決まりました。中澤さんは「今回の経験を励みにさらなる高みを目指したいです」と語りました。

「視野を広げたい」

「さらなる高みへ」中澤花瑛さん(3年)の作品が県高文化連書道専門部会長

賞を受賞し、7月28日から秋田市で開催の全国総文祭へ出場が決まりました。中澤さんは「今回の経験を励みにさらなる高みを目指したいです」と語りました。



昨年北海道に来日したインドの中高生たちの様子

客船からのツアー失敗後の3月末、静岡銀行から新たな提案がありました。来日が安定的な「学生スタディーツアー」を取り込んではどうかというものです。ここからは、さらに代替わりした「3代目インバウンド取り込み隊」のその後の動きを追います。

インバウンドを取り込み隊

2年越しのプロジェクトが失敗に終わった今年3月末、静岡銀行地方創生部から連絡があり、東京のインバウンド誘客を支援しているコンサルティンク企業「Aya.Global (アヤ・グローバル)」が、インドの中等教育学校の希望者生徒を日本にスタディーツアーとして仲介しているらしいので、会ってみたいかというのでした。



初顔合わせ (4月27日)

「研の担当に」Aya.Global代表取締役 鈴木明弥さん、静岡銀行地方創生部を本校に招き、2代目と新たに編成した

ターゲットを変更 インドの中高生に

New Era senior secondary school (ニュー・エラ・シニア・セカンダリー・スクール)

インド西部のグジャラート州 (ナレンドラ・モディ・インド首相の出身地) にある小学校 (幼稚園) から高校まで併設する小中高一貫校。富裕層の子女が多く通学する。授業は英語で行われる。年に数回、生徒10名前後程度での来日スタディーツアーを実施している。



今年度は「3代目インバウンド取り込み隊」の生徒実行委員を中心に、部活動のコミュニティ研究会も後押しする形で準備を進め、できれば今年11月にインド学生を受け入れようとして準備中。必要に応じて従来のように書道、華道、詰めていく予定です。

その候補地として本校が可能かどうかの話し合いをしました。実は本校では3年前に台湾の高校生13名を2泊3日で受け入れたことがありました。校内では校舎見学と2時間の体験授業、放課後には部活見学を実施し、本校生徒の家にホームステイしました。その様子を富士見中学校に見ていた担当生徒もいます。

今年度のインド中高生スタディーツアーでは、過去の台湾交流や過去二代の「インバウンド取り込み隊」の経験を生かしてまいります。(石井)

今年度は「3代目インバウンド取り込み隊」の生徒実行委員を中心に、部活動のコミュニティ研究会も後押しする形で準備を進め、できれば今年11月にインド学生を受け入れようとして準備中。必要に応じて従来のように書道、華道、詰めていく予定です。

その候補地として本校が可能かどうかの話し合いをしました。実は本校では3年前に台湾の高校生13名を2泊3日で受け入れたことがありました。校内では校舎見学と2時間の体験授業、放課後には部活見学を実施し、本校生徒の家にホームステイしました。その様子を富士見中学校に見ていた担当生徒もいます。

今年度のインド中高生スタディーツアーでは、過去の台湾交流や過去二代の「インバウンド取り込み隊」の経験を生かしてまいります。(石井)



埼玉県立富士見 埼玉県富士見市にある男女共学の普通科公立校。昭和51年創立で「富士高(ふじこう)」進路は専門4割、大学3割、就職3割。ジャグリング部など。修学旅行は2泊で沖繩。

東京都練馬区にある山崎学園富士見中学校高等学校。完全中高一貫制の私立女子校。大正14年創立で102年目。通称は「ふじみ」。進路はほぼ四大で難関校に多数進学。合気道部、料理部など2週間の台湾交流。

長野県諏訪郡富士見町の標高967m(日本一の高)にある男女共学の普通科、園芸科公立校。昭和2年創立で99年目。通称は「ふじみ」。進路は就職と進学半々。養蜂部など。修学旅行は2泊で広島とUSJ。

静岡県富士市にある富士学園静岡富士見高等学校。特進コースと総合コースの普通科男女共学。昭和2年創立で99年目。通称は「ふじみ」。進路は進学8割、就職2割。カルタ部など。修学旅行は3泊で広島とUSJ。

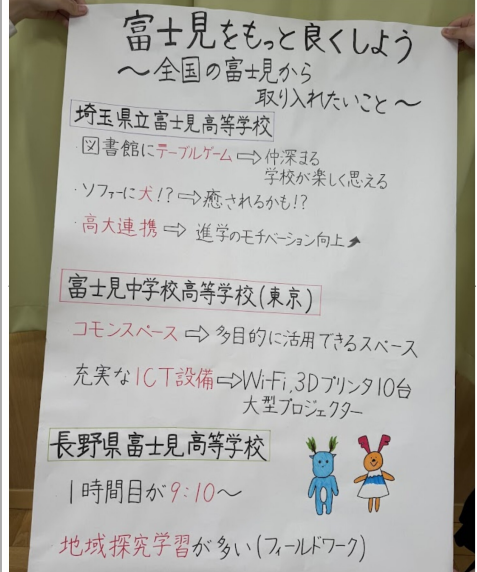
2年生特進コースでは、来年に迫った富士見高校創立百周年を踏まえた探究学習をしています。その中で、全国に4校ある富士見高校との比較から、取り入れたい良いところをまとめたグループとその思いを紹介しています。

現2年生は来年度に本校が創立百周年を迎える際には主役の3年生になるため、5月より本校の歴史などについてグループで調べてまとめ、6月15日にポスター発表するという探究学習を実施しています。その中で本校の他に「富士見高校」が埼玉県、東京都、長野県に実在していることから、その比較をまとめた杉山柚

「親睦を目的とした4校の交流も大切だ」と思います。オンラインで校章、校歌、修学旅行の行き先、特徴的な行事、マスコットキャラクターなどを紹介しあつたり、珍しい部活や強い部活、学食のメニュー、お互いの学校を通すことから始めるのが一般的なルールなので注意が必要です。

「親睦を目的とした4校の交流も大切だ」と思います。オンラインで校章、校歌、修学旅行の行き先、特徴的な行事、マスコットキャラクターなどを紹介しあつたり、珍しい部活や強い部活、学食のメニュー、お互いの学校を通すことから始めるのが一般的なルールなので注意が必要です。

「親睦を目的とした4校の交流も大切だ」と思います。オンラインで校章、校歌、修学旅行の行き先、特徴的な行事、マスコットキャラクターなどを紹介しあつたり、珍しい部活や強い部活、学食のメニュー、お互いの学校を通すことから始めるのが一般的なルールなので注意が必要です。



山田さんは「良いところは4校で共有したいので、できれば本校がホストになって百周年イベントとして『全国富士見高校サミット』のような会議を開催してみたいです。形式はオンラインでもよく、生徒会でもこの企画が話題に出たことがありました」と語りました。

続けて山田さんは「親睦を目的とした4校の交流も大切だ」と思います。オンラインで校章、校歌、修学旅行の行き先、特徴的な行事、マスコットキャラクターなどを紹介しあつたり、珍しい部活や強い部活、学食のメニュー、お互いの学校を通すことから始めるのが一般的なルールなので注意が必要です。

先生方に相談 先生方に相談 先生方に相談

2年生特進コースで「富士見高校サミット」を

4校交流も大切

先生方に相談

すずかけ

「ふじみ弁当」絶好調

～有志探究学習で駅弁を開発、新富士駅で販売～



富士山型に容器を仕切り、100周年の記念ロゴの焼印まで入る本格的な駅弁。定価1,230（一番フジミ、オー）円。

来年度に控えた創立百周年に先駆けて、有志生徒が地元駅弁業者「富陽軒」とコラボした駅弁「百周年記念ふじみ弁当」が、4月の発売以来、絶好調な売り上げだそうです。

「不死身」な健康長寿弁当

駅弁開発のきっかけは、昨年度の静岡銀行主催「アオハルし放題」という探究学習コンテストに、当時1年生だった3名（田中葵さん、常盤真帆さん、山田美音さん）が、駅弁の著書もある上杉剛副先生からの声かけに「不死身」な健康長寿弁当を開発したことです。昨

地元食材を多く

平日限定での販売が始まりました。約2年間、6000個を予定しています。中身は、百歳の長寿を迎える富士見高校の「不死身」にあやかって、カロリー控えめ、塩分、油分控えめです。それでいて富士の名物「茹で落花生」おこわ、田子の浦産しらすの三島馬鈴薯コロッケ、赤魚の塩麹焼き、ロー

3月27日のお披露目会ではNHKをはじめ全国紙の取材もあり、さらに全国の駅弁業者を束ねる日本鉄道構内営業中央会より、今年の駅弁キャンペーン「春のイチ押し駅弁2026」31種の1つに認定されたことで、全国から「ふじみ弁当」



新富士駅ホーム限定販売

焼印や副菜などを手がけた常盤真帆さんは「ネットでも予想以上に話題になっていて富士見高校の名を全国に広めているのが嬉しいです」と語りました。

3月27日のお披露目会ではNHKをはじめ全国紙の取材もあり、さらに全国の駅弁業者を束ねる日本鉄道構内営業中央会より、今年の駅弁キャンペーン「春のイチ押し駅弁2026」31種の1つに認定されたことで、全国から「ふじみ弁当」

富陽軒の製造部長 括り「ダイ小泉みどりさんによると「ふじみ弁当」の発売開始以来、新富士駅では午前中に売り切れてしまうことが多く、本社にも近隣からの大口注文（中には500個）が入り、絶好調だそうです。また、本校にも「ふじみ弁当」を買うためだけに東京から来て、実際に食べたというメールなどが寄せられています。

編 富士見に取込み

昨年10月に実施予定だった、清水港寄港の豪華客船インバウンドを本校に呼び込み文化体験をするというツアーは、旅行会社の集客努力むなしく参加者ゼロでした。リベンジを期した今年3月のツアーもゼロ。しかし、本校「インバウンド取込み隊」は諦めていません。3年越しのプロジェクト成功に向けて、その後の動きを追跡しました。



清水港で外国客に聞き取り調査(昨年10月) 写真中央が浪房さん、その右が岩田さん

集客方法に無理があったか

3年前に発足した「インバウンド取り込み隊」は今春卒業した山崎俊さん（静岡大1年）、中村直太郎さん（立命館大1年）、加藤咲希さん（明治大1年）が初代メンバーでした。本校で制服、茶道、給食、清掃、防災訓練体験をした後で、全天候型の富士山世界遺産センターなどを訪れるバスツアーを県の探究大会で発表し、主催者の静岡銀行地方創生部からの後押しで旅行会社HISを通して起業、集客を試みました。その後、代替わりで現3年生の浪房彩音さん、岩田千鶴さん、手塚心春さんに引き継ぎ、静岡銀行と調

結果は悲劇

結果は応募なし。ゼロでした。3人は募集画面【下図参照】に本校の魅力が表現されていないと分析



▲実際のツアー募集画面（HIS）

整理して文化部体験を中心とした現実的なプログラムに変更しました。3人は書道、華道、茶道、箏曲の4部活と調整し、校内ボランティア生20人を募り、準備万端にして10月の集客結果を待ちました。

なぜ悲劇

しかし、それでも応募はゼロでした。静岡銀行地方創生部によると、最大の原因として考えられたのは、HISの公式サイトでしか宣伝できず、インバウンドに周知されなかったことが挙げられます。

2代目「インバウンド取込み隊」の浪房さん、岩田さん、手塚さんが制作したプロモーションビデオは、昨秋にドイツのケムニッツからの留学生ノエミさんを起用して、実際に書道、華道、茶道、箏曲の4部活の体験をしたプロモーションビデオを制作し、HISのツアー募集画面にリンクを貼らせてもらったそうです。さらに、4部活を2部



留学生を起用したPV

体験できるように工夫して、今年3月にリベンジツアーを企画して万全な体制を整えました。また、清水港寄港の客船だけになく、富士地区に宿泊する予定のインバウンドにもターゲットを広げました。

しかし、それでも応募はゼロでした。静岡銀行地方創生部によると、最大の原因として考えられたのは、HISの公式サイトでしか宣伝できず、インバウンドに周知されなかったことが挙げられます。こうして足掛け2年に及ぶ客船から集客の試みは、努力むなしく完全に失敗に終わったのです。

